

## 四季の谷津の歩き方 - 春編 -

季節ごとの谷津歩きのポイントを紹介します。今回は春編です。

### ■昆虫・クモ

3月に入り、二十四節気の啓蟄（けいちつ、3月5日ごろ）を迎えると、その名の通り、冬ごもりしていた虫たちが這い出してきます。先ず姿を現すのは越冬した虫たち。谷津田を散策していると目につくのはチョウの仲間です。気温が高めの日にはキタテハ、ルリタテハの飛び姿が見られるでしょう。ツチイナゴが足元から飛び立って驚かされます。草地にはナナホシテントウが忙しく動きまわり、地際にはヒシバツタも跳ねています。道端に芽を出したギシギシ、スイバの若葉にも虫の食み後が見られるようになります。屈んでそっと見るとコガタルリハムシが雌を求めて忙しく歩き回っているでしょう。大きなお腹をしているのはメスです。驚くとポロッと下に落ちてしまうのでそっと見ましょう。ルリ色をしたハムシは他にもたくさんいますがどれも似ています。虫だけ見ても種類を見極めるのは難しいものですが種類によって幼虫や成虫が食べる草（食草といいます）が決まっていますので、何の植物にいたのか種類を特定するのに有効です。虫がいた草も記録する習慣をつけましょう。また、ギシギシ、スイバにはイタドリハムシも見られようになります。大きなハムシで黒地にオレンジの不整形の紋があり綺麗で目立ちます。ギザギザの太いのこぎり歯のような触角も特徴があります。



イタドリハムシ



スジブトハシリグモ

田んぼに目を転じるとアメンボが冬眠から覚めて水辺に出てきます。流れのない田んぼはヒメアメンボが、流れのある小川はアメンボが多いようです。暖かい日中、コモリグモやハシリグモの仲間が忍者のように水の上を走り回っています。

暖かくなるとモンシロチョウやモンキチョウも飛び出すようになります。マイナーな虫たちですが水辺から羽化したキリウジガガンボなどがガガンボの仲間やカワゲラの仲間が林内で飛び交っています。花々にはコハナバチやハナアブの仲間が蜜や花粉を求めて訪花、それを狙うハナグモなどカニグモの仲間が腕を広げて待ち構えています。

林内で越冬したホソミオツネトンボが淡褐色から青味がかって間もなく水辺に出てこようとしています。トンボのなかでもいち早く羽化するシオヤトンボが出現すると谷津は一気に生きもの達があふれる季節になります。

### ■魚・カエル

田んぼや小川ではメダカが群をなしています。2月に生みつけられたニホンアカガエルのオタマジャクシは水のあるところいっぱいになり、元気に泳いでいます。3月になるとアズマヒキガエルが産卵し、細長いホースのような卵塊がからみあっている様子が田んぼで見られることでしょう。かえったオタマジャクシはいつまでも真っ黒にかたまっています。アカガエルと違い面白い習性ですね。暖かい日にはキリリッ、コロロッとシュレーゲルアオガエルが鳴き



シュレーゲルアオガエル

始め、4月に入ると大合唱になって、田んぼの畦に掘った穴の中に泡に包まれた卵を産みます。シュレーゲルはこの穴の中で鳴いているので声はすれどもなかなか姿を見つけることができません。ニホンアカガエルはシュレーゲルによく似ていますが、目のところに黒いすじがあるのと、鳴き声が童謡に歌われるようなケロケロケロ♪であることで見分けられます。

暖かな田んぼはよく見ると小さなミジンコがたくさんうごめいています。田んぼの生態系の底辺を支える命です。タニシの仲間、カワナナなど這った跡をたどると半分泥に埋まったようにしているのを見つけられます。



アズマヒキガエルの卵塊

## ■植物

春は花の季節。土手や畦は野草のお花畑になります。3月になると田んぼの中はタネツケバナの白い花がじゅうたんのようになり広がります。水の多いところではタガラシが咲き、黄色い花がよく似たケキツネノボタンは畦を彩ります。ヘビイチゴ、セイヨウタンポポなど黄色い花が多いのは春の特徴です。湿った畦ではニョイスミレが細長い茎の先に小さな白い花を咲かせます。3月の林では白いコブシの花が遠目にもよく目立ちます。イヌシデ、コナラ、クヌギなどは芽吹くと同時に、ちょっと目には花には見えない房状の花を垂らします。ヤマザクラやウワミズザクラが咲く頃になると春本番です。林床に目を移すと、タチツボスミレやフデリンドウが静かに咲いています。



イヌシデの花

## ■野鳥

3月に入ると聞こえてくるのがウグイスのさえずり。ホ～ホケキョ！に春を感じる方が一番多いのではないのでしょうか？上空からヒバリ、林からシジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、田んぼからセグロセキレイ、アシ原からホオジロとあちこちから鳥たちの恋歌が聞こえてきます。冬を谷津で過ごした鳥たちは旅立ちの季節です。カシラダカは顔が黒い夏羽に変わります。アオジも同じように色濃くなり、冬の間身を隠していたやぶから出て高い梢に止まり、さえずりの練習をします。ツグミは旅立ちを前にまるまると太り、こちら小さな声でさえずっているのを目にすることがあります。帰った先のシベリアではどんな歌をうたうのでしょうか？3月も半ばを過ぎると南国から渡ってきたツバメが姿を見せ、さっそく田んぼで泥を集めて巣作りに取りかかります。4月に空の上からピクィーと渡り鳥のサシバの声が聞こえるようになると季節は春から初夏へと移っていきます。

(網代春男・高山邦明)

## 谷津田いきもの図鑑 No. 40

### ウワミズザクラ

谷津の斜面林が新緑でぐんぐん覆われていく4月の下旬、よく目立つ白い花を付けるのがウワミズザクラです。普通の桜と同じように高さが15～20m、幹の直径が50～60cmになる高木ですが、花は桜とはずいぶん違い、小さな花が集まってコップを洗うブラシのような形に咲きます。一つ一つの花は直径が6mmくらいで一般の桜と同じように花びらは5枚、これがたくさん集まって長さが10cm前後の筒のような形になります。このような花の付き方を専門用語で「総状花序（そうじょうかじょ）」と呼び、フジなども同じ花の付き方です。ウワミズザクラの花はとてもよい香りがするので、谷津を歩いていると香りがして見上げると花が咲いていることに気づくことがよくあります。



ウワミズザクラの花 (小山、2008/4/29)

花が終わると一つ一つの花の跡に緑色の丸い実が付きます。それが8月頃になるとオレンジや赤に熟し、夏にしては珍しい色が林でよく目立ちます。この実はとても香りが良く、色もきれいなことから果実酒に使われることでよく知られています。新潟の方では果実やつぼみを塩漬けにしたものを杏仁子（あんじんご）と呼んで食用にするそうです。

その昔、この木の材木を「ははか」と呼んで、材の上面に溝を彫って燃やした上に亀の甲羅を置いて、ひび割れの出方によって吉凶を占ったようです。それで「上溝桜」と呼ばれるそうです。

普通の桜同様、開花時期は短くてあっという間に散ってしまうので、その季節になったら林の様子に注目して下さい。今年はいつ頃咲くのでしょうか？

(高山邦明)



夏には珍しいウワミズザクラのオレンジや赤色の実 (小山、2002/8/3)



小花が集まって房状に咲く (小山、2008/4/29)



# 里山たんけんレポート

## 第 122 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2010 年 3 月 7 日(日) 霧雨

冷たい霧雨の中、谷津を巡りました。スタートしようとしたら YPP 田からシギが飛び大塚田へ降りました。そっと近づき確認したところクサシギでした。幸先良くスタートをきりました。道端はセイヨウタンポポ、ナズナ、オランダガラシ(クレソン)、タネツケバナ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウなどが咲いていましたが、オオイヌノフグリ、ノミノフスマ、コハコベ、オランダミミナグサなどは天候のせいで花を開かず、蕾状態でちょっと残念でした。ツクシも例年見られるところに出ていました。ウグイス、シジュウカラの囀りは聞けませんでした。冬鳥も移動が始まっているようでぐっと少なくなっていました。アオジ、ツグミ、は残っているものがありました。常連のシジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラなどは谷津のあちこちで姿を見たり声を聞きました。向斜面下の水路でアズマヒキガエルがいて手にとって見るとメスでお腹がぺちゃんこでした。近くで産卵している筈と探したところ田んぼの中で紐状の卵が見つかりました。この田ではイチョウウキゴケがたくさん芽を出していました。アズマヒキガエルの卵は他の田でも 8 つ確認しました。ニホンアカガエルの卵塊は大方孵化していましたが、場所によっては卵塊がたくさんあったのにオタマジャクシが極端に少なく不思議でもあり、気に懸かりました。2 月 20 日のカウント時以降の新しい卵塊もありました。観察会解散直後にはホオジロのペアが YPP 田で仲良く行動を共にしていました。また、アオサギもやってきました。

(参加者 大人 8 名; 報告: 網代春男)

## 第 106 回 下大和田 YPP「味わおう! 春の谷津田」

2010 年 3 月 20 日(土) 晴れ

ウグイスの声が響き渡る谷津で恒例の野草を食べる会を開きました。まずはみんなで散策して野草さがしです。ヘビイチゴやケキツネノボタンなど春を告げる草花が次々と開き始めたあぜ道を歩いて野草を見つけました。最初はどれもみな同じ草に見えてしましますが、よくご存じの方に教えてもらいながら、摘んでは葉っぱの特徴や香りなどを一つ一つ確認していくとだんだんと野草が見えてきます。ミツバ、ヨモギ、タネツケバナ、カラスノエンドウ・・・袋の中がどどんいっぱいに。この季節一押しの一ワトコは例年よりも芽が出るのが早く、いつもよりも大きく育っていました。ノビルは太い茎を選んでそ〜っと抜きます。たくさんの収穫を抱えているものの広場に戻ると風がとても強くなっていたので、慌てて林に移動して料理することにしました。まずは天ぷらから。

さっと揚げて塩や醤油をちょっと付けてアツアツをほおばると春の香りが口の中に広がります。揚がった端からどどんみんなの口の中へ! ツクシは油いために、ノビルは酢みそを付けて、セリは炊きたてご飯に混ぜたり、みそ汁に入れたり、ヨモギはおだんごにと、ごちそうが一杯で大人も子どもも大満足でした。

(参加者大人 21 人、小学生 6 人、幼児 4 人; 報告: 高山邦明)



## 第 53 回 小山町 YPP「自然観察と田んぼの手入れ」

2010 年 3 月 14 日(土) 晴れ

暖かな春の日差しにすっぽりと包まれた谷津を散策しました。田んぼではアカガエルのオタマジャクシが泳ぎ始めており、よく見るとその周りで無数の小さなミジンコがうごめいています。きらきら輝く水面をコモリグモが忍者のように歩くとその姿が水底に影となって映っています。枝谷津の田んぼにはヒキガエルの卵塊がたくさん生み付けられており、子どもたちが恐る恐る触っていました。「どれくらいの長さなんだろう?」、「いくつ卵が入っているの?」と興味が尽きません。そんな時、近くのやぶから「ホ〜ホケキョ!」、春の歌声にみんなから歓声が上がります。山ぎわの水路にトウキョウサンショウウオの卵が例年になくたくさんあり、手分けして数をかぞえました。もう幼生の姿に成長している卵もあって、そっと触るとピクッと動き、孵化は間もなくのようです。

命の息吹が いっぱいの谷津を散策していたらお昼近くになってしまいましたが、子どもたちから「田んぼに入りた〜い!」という声があり、田んぼの草取りをしました。今のうちに少しでも取っておけば先に行って楽になりますので、みんなで目立つ草を抜きました。

(参加者大人 7 人、小中学生 7 人、幼児 2 人; 報告: 高山邦明)



## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 3月 6日 シュレーゲルアオガエルが眠そうな声で鳴く(高山)。  
3月 9日 アズマヒキガエルの卵塊を確認。暖かかった7~8日ごろ産んだと思われる(齊藤)。  
3月14日 ウグイスが鳴く。タチツボスミレやコケリンドウの花を見つける。アオダイショウの死骸があった(YPP参加者)。  
3月20日 アズマヒキガエルが孵化。林でミツバアケビ、クロモジ、キブシ、ウグイスカグラ、アオキなど開花(高山)。

### 下大和田

- 3月20日 斜面林でコブシが咲く。ヘビイチゴが開花。ホオジロやウグイスのさえずりが聞こえる(高山)。

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

## ▼第107回 下大和田 YPP「苗代づくり」・第108回「田起こし」・第109回「田植え」

いよいよ今年の米づくりがはじまります! 苗代づくりから田植えまで春爛漫の谷津田で子どもから大人までみんなでわいわい楽しく作業をしましょう。今年はコシヒカリと古代米の両方を一緒に田植えします。

- 日時: 苗代づくり 2010年4月10日(土)  
田起こし 2010年5月8日(土)  
田植え 2010年5月15日(土): 予備日16日(日)  
いずれも10:00~14:00、小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴(長め、できればホームセンターで販売している田植え用長靴)、軍手、敷物など。

参加費(資料代等): ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

## ▼第124回 下大和田5月の谷津田観察会とごみ拾い

田んぼや小川の水の中の生きものを探そう。魚、貝、昆虫どんなものがあるでしょう。

日時: 2010年5月2日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

## ▼第54回 小山町 YPP「田起こしとコシヒカリの苗代づくり」

田植えに向けて、まずはコシヒカリの田んぼの田起こしと苗代作りをします。米づくりのすべてをご覧になりたい方はぜひこの苗代づくりから参加ください。小さなお子さんの参加も歓迎です!

日時: 2010年4月10日(土) 10:00~12:30 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場  
(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴(長め、できればホームセンターで販売している田植え用長靴)、軍手、敷物など。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

**編集後記** 街で桜が咲き、谷津でもいよいよ春本番。畦はお花畑、林でも次々と花が開いています。この季節に谷津を散策すると記録を取るのにとでも忙しくて、フィールドノートのページがあっという間に埋まってしまう。春の訪れがいつもより早いとか、今年はタチツボスミレの花が多いとか、例年との違いを感じる一方で、いつもどおりの春の自然が見られるという「無事」をうれしく感じるこの頃です。

(高山邦明)

